

au by KDDI

チャレンジの先に、新たなバリューを

Create it!

au style magazine

エーユー スタイル マガジン
JUN. 2008

6

Pick up Unique!

京和傘

日吉屋

**auの最新モデルで、
夏への扉を開けよう!**



伝統とは、革新の連続から生まれてくるもの

京都に唯一残る京和傘の老舗・日吉屋。和傘の魅力や伝統技術を生かした新たな取り組みについて、5代目 当主・西堀耕太郎さんにお話をうかがいました。

和傘職人になったきっかけは？

高校を卒業してカナダに留学していたときに自分が日本の文化について何も知らなかったことに驚き、帰国後、“和”の良さに目覚めたんです。そんな時期に今の妻と出会いまして。妻の家に遊びに行ったら、番傘を作っていて。妻の実家が日吉屋だったんですね。その後、和傘自体将来性もないし店を閉めようかという話もあったんですが、こんな素晴らしいものを途絶えさせるのはもったいないと、私が継ぐことになったんです。

和傘の魅力は？

伝統というのは単に古いものを守り続けることだけではなく、時代の変化とともに革新を続けた結果でもあると思うんです。和傘の起源も昔は開閉できるものではなかったし、先人たちの工夫があって今の形になっている。和傘は竹や和紙などの自然素材でできていて、和紙を張り替えていけば長く使えるし、そうしたエコロジカルな部分も見直されるべきものだと思います。

和傘ならではの美しい網糸飾り



妻折野点傘



左上:スペースデザイナー山下順三氏とのコラボ「KOTORI Large pendant」(京都スタイルカフェ@青山スパイラル)
 左下:和傘270年ぶりのモデルチェンジとして取り組んだ「WAGASA」(5/28~新発売@高島屋大型店)
 右:ホテルの空間を彩る古都里シャンデリア(HOTEL SCREEN KYOTO)



新しいものにも取り組まれていますね

和傘の美しさは、竹を組み上げたときの幾何学模様と和紙を透過する光にあると思います。それを生かせるのは、まず照明かなと。傘のように折り畳める「古都里-KOTORI」は照明デザイナー長根寛氏たちとの、和傘を現代風にアレンジした「WAGASA」(ワガサ)は伝統の革新を目指すSINARUグループとのコラボから生まれました。今後いろいろな分野のクリエイターとの出会いを通じて、和傘の良さを広めていければと思っています。



★古都里(広げた状態)



★古都里(畳んだ状態)



和日傘・網張り(蛇の目/紫白)

西堀耕太郎(にしほりこうたろう)

江戸時代後期に創業した日吉屋5代目当主。京都・宝鏡寺の門前に店を構え、京和傘のほか、和傘の技術を生かした新しい、試みにも積極的に取り組んでいる。和風照明「古都里-KOTORI」はグッドデザイン賞を受賞し、国内外で反響を呼んでいる。
 口ホームページ(PCから) <http://www.wagasa.com/>



Present for you

日吉屋オリジナルのミニ和傘(小)を15名さまにプレゼント!

締切6/30

※当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



日吉屋の壁紙を無料配信!

※別途、通信料がかかります。

締切7/31



京友禅和日傘



このほか3点

KYOTO PREMIUM 古都里スタンド

日吉屋の商品がケータイで買える!

★印の付いた商品を「au Shopping Mall」で期間限定販売中!

★au限定! 正絹真田紐ストラップ

EZwebではミニ和傘づくり体験を写真付きでご紹介!!

ご応募、ダウンロード、ご購入はコチラから!

ケータイから

EZ ⇒ [トップメニュー]
 または [au one トップ]
 ⇒ [au style]
 ⇒ [au styleマガジン]

または上のQRコードからアクセス!

